

8月前期教育委員会 議事録

日 時 令和5年8月10日(木)

9:00~10:30

場 所 佐世保市役所4階第一委員会室

○教育長 まず、議題の一つ目でございます。二つ目の議題が令和6年度使用小学校教科用図書採択の件でございますが、一つ目の議題としましては、この二つ目の議題につきまして、秘密会にさせていただきたいという提案でございます。地方教育行政の組織と運営に関する法律第14条第7項及び佐世保市教育委員会会議規則第15条ただし書きにより、皆様にお諮りした上で秘密会としたいと思っております。今回の教科書採択につきましては、教育含めて行政執行情報に関する意思形成の過程にあたります。

意思形成の過程においては、静ひつな環境の中で、公平公正な意思形成を進め、意思形成するまでは秘密会というかたちで進めていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

一つ目の議題としましては、秘密会とさせていただきたいと思っております。

それでは二つ目の議題。令和6年度使用小学校教科用図書採択の件についてです。当日配付資料の方の1枚目に議題書が入っています。議題の説明について、事務局よろしくお願ひします。

○事務局 学校教育課長です。資料1ページの方をご覧ください。

令和5年3月23日の定例教育委員会において決定しました、令和6年度使用小学校教科用図書の採択事務に基づき、採択審議委員会からの報告を受け、最終的な採択を行っていただくよう提案するものです。以上です。

○教育長 経緯についてもどうぞ。

○学校教育課長 それでは2ページをお開きください。3月から8月にかけて、慎重に審議を重ね、進めて参りました。詳細につきましては、掲載資料1の一覧をご覧ください。以上です。

○教育長 私の方からも少し振り返りたいと思っておりますが、3月の定例教育委員会の折に、教科書採択の進め方につきまして、ご報告・ご審議いただきまして、その時の方針に基づいて、これまで5ヶ月の間、作業を進めていただきました。特に、多角的・重層的な検討をしたいということで、学校の現場の先生方の声を聞かせていただいたり、調査研究をしていただいたり、それに基づいて選定委員会、採択委員会と説明させていただきました。教育委員の皆様にも、いろんところに傍聴に出席していただき、ありがとうございました。いよいよ最後の段階でございます。今回、意思決定というかたちになってまいります。

1教科ずつ進めて参りますが、その前に採択委員会の委員長さんからご報告を頂戴したいと思います。

○審議委員長 それでは失礼いたします。はい。採択審議会の方から結果の報告をさせていただきます。

採択審議委員会では、4回にわたりまして、採択審議会を行い、審議をして参りました。PTA代表の方、或いは民生委員或いは青少年健全育成会、或いは小学校中学校の学校から、或いは小中高の教科の専門と申しますか、小学校中学校高等学校のいわゆる繋がりを重視した、そのような意図で、それぞれの立場で活発なご意見をいただきました。

そして、審査をして参りました。佐世保市の教科用図書採択審議委員会の条例がございますが、

その第11条に、審議委員長は結果を教育委員会に報告しなければならないとありますので、それに沿って審議内容を報告いたします。

佐世保市の子供たちにとってより良く適した教科書、いわゆる長崎県の教育方針を受けた、本市の教育方針及び本市の実態を十分に考慮し、豊かな人間性の育成を図る上での特長、また確かな学力の育成を図る上での特長、学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの評価、表現や掲載の特長と、様々な視点から検討いたしまして、審議結果を出しました。

それでは報告をさせていただきます。なお、お手元の資料2に丸を付けるなど、メモとして用意がありますので、ご活用いただければというふうに思っております。各教科順に報告をさせていただきます。

まず、国語科でございます。

3者ございますが、まず東京書籍です。単元を貫く、言語活動のイメージ化を図るなどの工夫がよくなされておりました。

同じ国語科、教育出版。書くことの領域においては、日常化を図る系列や、課題追究、或いは論理的に書く系列など、学年ごとの系統を意識して、単元が組まれているというところが特長としてございました。

また、2冊に分かれておまして、低学年とか中学年にとって非常にありがたいのではないかなという意見がございました。

光村図書です。読むことの単元に、単元の扉と学習の流れをまとめた学習ページを設けることで、児童が主体的に学習を進めることができるように工夫をされておりました。

また、「ごんぎつね」とか「大造じいさんとがん」、これは各教科書会社共通して載っている作品でございますが、その中でもやはり光村図書の作りのよさを感じられて、いわゆる細かいところまで気を使って作られているというような特長がございます。

次に書写でございます。

これも3者ございました。

東京書籍です。ユニバーサルデザインの観点がよく見られました。

教育出版。単元の導入では、めあてに続いて考えようの項目を入れ、思考・判断力、表現力育成のための工夫がありました。

次によい姿勢について、「こしぴん・足ぺた・ぐう一つ」など音声で表現したり、筆の持ち方など基礎的・基本的な知識、技能が確実に習得できるような工夫がされていたりしました。

光村図書。非常にこうシンプルですが、写真やイラストも豊富で、視覚的にとらえやすい特長がございました。それに合わせてやはり、それによって、低学年でも非常にわかりやすいのではないかというご意見が多かったです。またイラストが多いので、PTA保護者、親が見て「このようにしなさい」という指導ができるということも特長としてありました。

次に、社会科でございます。3者でございます。

東京書籍。47都道府県の地図が非常にわかりやすいという意見がございました。

6年生が歴史編、政治編に分かれていて非常にわかりやすいところの特長でございます。

また、5年生も上下に分かれているということも特長でございました。

教育出版。各学年において、「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」の学習過程によって、各単元を構成してあり、レイアウトも非常に良い印象を受けました。

また、白黒写真をカラー化しており、理解の一助になるのではないかということも意見が多く出ております。

日本文教です。キーワードのコーナーを設け、学習理解、必要な重要語句を示すことにより、よりわかりやすく社会科の理解が深まるようになっておりました。

次に地図です。2者ございます。

東京書籍です。情報量が非常に多く、細かく掲載しており、丁寧でありました。

帝国書院です。情報量を児童の発達段階に合う形で配置されており、知的好奇心を十分に喚起できるようになっております。

また、視覚的に訴えていて、見つけやすく、山の高さなどもはっきりとわかりやすくされておりました。

次に、算数でございます。算数は6者ございましたが、3者に絞らせていただきました。

東京書籍です。ICTのよさを生かした、深い学びの実現が図れるよう、問題解決の際、活用できるデジタルコンテンツが用意されておりました。また、同じようにイラストが豊富でわかりやすかったです。書き込みもしやすく、見やすくなっておりました。

教育出版です。これも同じようにイラストが豊富で、非常にわかりやすいものとなっておりました。やや教科書自体が分厚いのが、気になるところでもございました。

啓林館です。特に解説動画などQRコンテンツが充実するなど、1人1台端末を有効的に使用できるようになっています。新時代の学習スタイルの構築に資する構成になっており、児童生徒が、児童自身が、めあてを導き出す授業展開ができるなど、主体的に取り組めるものとなっております。イラストが豊富で、非常にわかりやすいのも特長の一つでございます。

また、書き込みやすく見やすいというのも特長ではないかと思えます。

理科です。理科ですが、5者ございましたので、3者に絞りました。

まず、大日本図書です。デジタルコンテンツが毎ページに、ページごとに掲載されているということが特長でございました。また、発展的な学習に生かしやすい、そういうような手法がとられておりました。

教育出版です。4年生の人体でレントゲンや写真など具体的なものが掲載されているということも特長としてあげられておりました。

啓林館です。4年生の人体の学習で、QRコードがついていて、ICTにつなぎやすい、つなげることができるという特長がございました。

まとめのノートがついておまして、まとめがわかりやすく、新しく学習した言葉も載っていて、子供たちが学習した後の確認ができるのではないかという意見がございました。

問題からはじまって、結論という一連の流れがあり、親が見てもわかりやすいというご意見もありました。

次に、生活科でございます。これは6者ございましたが、2者に絞らせていただきました。

まず、光村図書です。教科書全体を通して、イラストや言葉の端々に、子供たちそれぞれの感じ方や成長を大切にしようとする姿勢があり、多様性とか安心感が重視されていることから、非常にふさわしいのではないかというふうにも考えました。イラストもよく、文字も大きくて、非常にわかりやすいというのも特長の一つでございました。

啓林館です。自然との関わりを大切にした構成となっており、動植物に親しみを持ち、生命を大

切にしようとする態度を養うことができるという意見がございました。友達のいいところを見つける内容があり、心の教育、本市が求めている心の教育にもとてもいいのではないかというご意見もございました。

音楽でございます。音楽は2者でございます。

教育出版です。これは、非常に低学年にとっては、丁寧な作りになっているというご意見がございました。

教育芸術です。高学年にとっては非常に作りがよい教科書になっております。

また、デジタルコンテンツで親がわからないような、音程の違いや拍のとり方などの解説があったのが非常によかったというご意見もありました。

次に図工でございます。2者でございます。

まず、開隆堂です。低学年で道具の使い方が二次元コードで見ることができるという特長がございました。

次に、日本文教です。子供たちのイメージが湧きやすい、広がっていきやすい、そのようなつくりになっていました。低学年の道具の使い方が、二次元コードで見ることができることが非常によく、特に詳しくなっていたということがありました。また、この題材で何を学んでいくのかが掲載されていて、親としても非常に親切であるというご意見がありました。

家庭科です。家庭科は2者でございます。

東京書籍です。写真やイラストが興味を喚起したり、イメージを膨らませたりするように工夫がされているという特長がございました。

開隆堂です。教科書の冒頭に家庭科が自分の生活を見つめることからスタートし、自らが学び、生活をより良くする意欲を高めるため、生活の見方や考え方を四つの視線で示すというような工夫がなされてありました。あるいは、見開きを上手に使い、流れが非常にわかりやすいという特長もございました。

保健体育です。これも6者ございましたが、2者に絞らせていただきました。

光文書院でございます。本市の体育副読本との関連があり、文章表現が、簡潔で言語活動を設定しやすいという意見が挙げられました。また、ここも同じように、自分の考えがしっかり書けるような工夫がなされてきました。

学研です。成長の個人差理解の工夫、心と体が相互に影響する科学的理解の工夫、喫煙や飲酒の断り方、ロールプレイ資料の掲載に加え、全体的にやさしい色遣いで落ち着いた学びができるように工夫がされてきました。QRコードの動画が非常に見やすいというご意見もございました。

さらに、自分の考えが書けるようになるということも非常に特長ではないかと思います。

次に、英語でございます。6者ございましたが、3者に絞らせていただきました。

まず、東京書籍です。どの単元においてもめあてが明確であり、具体的に組み立てるように工夫がされています。

また、学習活動も豊富に準備され、さらにワークブックのようになっていて、書き込みができるというのも非常にこの特長かと思えます。全体的に非常にバランスがいいなという感じを受けます。

三省堂です。各単元で、児童が確実にステップアップできるようにスモールステップの単元構成がなされてきました。

啓林館です。単元内の学習活動が目的的に配置されていて、段階を追って知識技能が身につくよ

うな工夫がされています。実際の場面で学習したことを使わせることで、コミュニケーション能力の向上が図れるような、そういう工夫もなされていました。学んだことの広がりがある、そういうようなご意見も出ました。

次に、道徳でございます。これも6者ございましたが、3者に絞らせていただきました。

東京書籍です。イラストの表現が非常に豊富である、それから、指導項目が明記されているっていうのも特長としてございました。

教育出版です。これも現代社会の課題であります、いじめ、あるいは情報について、クラス編成後の年度当初に、単元が設定してあるっていうのも非常に特長的ではないかというご意見もございました。

光村図書です。メディア教育について、非常に学びやすい特長がございます。

また、命を大切にしなければということが、どの学年にも書かれてあるというところも、本市の教育方針と一致するのではないかというご意見もございました。また、学習に対して、付録にシールがついておまして、これが低学年の子供を中心に非常に魅力的ではないかというご意見もございました。

以上が報告でございますが、まず、教育委員の皆様には、傍聴に来ていただきまして熱心に聞いていただいたことをまずもってこれに感謝したいと思っております。私たちの方も非常に励みになりました。

また、各学校の選定委員会での、先ほど教育長からもお話がありましたが、緻密な資料を出していただいたこと、それから、豊富な資料、あるいはそういう思い等々も聞かせていただいたことも非常に参考になりました。

それに、事務局の方も細かな資料等の提出をしていただいたこと、これにも感謝申し上げます。ただ私たちの方としましては、情報の中のQRコードというのが、どの教科書にも載っておりましたが、3年・4年前のコロナが始まったときインターネットでの通信がうまくできなかった、集中してしまってなかなか繋がらなかったという経験がございます。

いわゆる小学校の授業が6時間ぐらいあるんでしょうが、その9時から3時ぐらいの間に、情報がQRコードで情報をつなげていくと集中してしまって動かないとか、見ることができないということがあるのではないかというような、懸念もございましてその辺のことにつきまして私たちの方も検証ができなかったというところがございます。随分使いながら、QRコードで音声とか発音とか資料とか見ながらやってはいたんですけども、何かこう集中した場合にどうなるのかっていうようなことの懸念もあるっていうご意見もいただきました。以上、報告をさせていただきました。

○教育長 大変わかりやすいご報告、ありがとうございます。各委員さん方から最後になるかと思いますが、お尋ねなどございましたらお願いしたいと思っております。よろしいですか。

委員長さん、本当に長時間ありがとうございます。拘束する時間が大変長かったのですが、拘束してる時間以外にもずっと自主的に研究等していただいたのではないかと思います。ありがとうございます。

委員長様には豊富な経験等、本当に豊かな識見を持って適切なリードしていただいて、そして、いろんな立場の方のご意見も忌憚なく出していただいて、大変充実した報告をいただいたと思っております。ありがとうございます。

○審議委員長 ありがとうございます。

～採択審議委員長退席～

○教育長 それでは、いよいよ各教科の採択に入っていきたいと思います。教科書の採択でございますが、ここで話し合いをして協議をしてみんなで一致して一つにしていくっていうものでは、ございません。

最終的には、お一人お一人のお考えで決めていくものになりますので、最後の手段としては分かれた場合は挙手をしていただいて、一番の今日の多かった教科に変えていくこともございますので、それぞれの信念、それぞれの思いに従ってご意見を出していただければと思います。進め方としては、それぞれの教科ごと、まずお1人ずつに、この教科ではこの教科書を自分は押したいということを表示していただいて、また簡単で結構ですのでその理由も添えていただければと思います。私自身もそうなのですが、教科によっては非常に迷っているものがございます。

その場合は素直にこの教科についてはA者とB者で迷っているという話をしていただいても結構かと思えます。そのような進め方をさせていただきたいと思えます。

それでは国語からいきます。

○教育委員

採択審議委員長さんが説明された中で光村図書が、私はバランス取れていいと思います。

○教育長 光村図書のバランスがいいということですが。他の委員さん、いかがですか。

○教育委員 今、光村図書を使っているということをお聞きしました。とても指導がしやすいし、作りが丁寧とおっしゃっていたので、光村図書がいいかなと思っているのですが、教育出版も学校に来てからという導入みたいところや絵もとても好きなので、私はどちらにしようかなと悩んでおります。

○教育長 ありがとうございます。今のような悩みで結構です。

○教育委員 私も光村図書かなと思います。「ごんぎつね」をこの前比べてみた時に、挿絵のところなどの説明を聞いて、光村図書かなと思いました。

○教育長 共通教材のところでは採択審議委員会の中でも説明がありましたけれども、大変わかりやすかったですね。

○教育委員 私も見ていく中で、光村がよかったのではないかなと思います。やっぱり作りが丁寧というご説明もありましたが、確かにいろんな挿絵も含めまして、いろんなところで手がこんでいるということと今まで使ってる、馴染みがあるということもあって、現場の先生方のご意見ですね、かなりいいというご意見も出てきたようなので、私も光村がいいのかなと思います。

○教育長 学校の現場からの声も光村を推す声が多かったようです。私も光村がいいなと思っております。

小中学校の国語、言語の能力の目的をどのように考えるのかということですが、三つの段階があって、一つは、正。正しい言語。間違った言語を使わせないで正しい言語を使わせましょう。正誤が真っ先にあります。その次に言語能力でいくのが適・不適。正しい間違いが第1段階で第2段階として適切な言葉を使う、不適切な言葉を使わない。最終段階としては、「美醜」。美しい日本語を使いましょう。これが、学習指導要領が求める言語能力の3要素を示しているのですが、今回、光村図書の教科書に日本語の「美醜」を意識した指導がたくさんあるなど感じました。文学作品の扱いなどから。その点からも私も光村図書の教科書がふさわしいなと思いました。

皆さんのご意見一緒でございました。

国語につきましては、光村図書ということで確認させていただきます。

それでは続いて書写にうつりたいと思います。

○教育委員 最初、東京書籍と光村の左手の扱い方であるとか、あるいは教育出版の「こしピン、足ピタ」などいろんな子供たちが取り組みやすいよさがあるんですけども、やはりトータルで見てわかりやすかったのはやっぱり光村です。いわゆる筆の運びなども含めましてしっかり丁寧に作られているのではないかということで、三つそれぞれいいところがあったのですが、光村かなっていうところに、最終的に落ち着きました。

○教育長 それぞれよさはあるけれども総合的に見ると、光村かなという意見です。

○教育委員 私も光村かなと思っています。書写は非常に指導が難しいと思うのですが、イラストが多くて、筆記用具の持ち方とかそのような点がわかりやすかったり見やすかったりするということ、知識・技能がしっかりとわかるというような感じで書かれていたので、私も光村を推したいと思います。

○教育委員 自分自身が最も苦手なものですが、光村が一番わかりやすいと私は感じました。シンプルでレイアウトも見やすいなと思いました。例えば東京書籍とか、私にとっては難しく感じました。

○教育長 そのような感覚が教科書には大切なんでしょうね。

○教育委員 はい。私も光村図書で、付属の書写ブックが硬筆にも生かせるという、普段にも使える教科書だなと感じました。

○教育長 私も光村図書がいいと感じました。とてもシンプルで、一つのページの中に入ってる情報量自体はすごく絞られてる。それが、必要な情報にして、わかりやすい。委員さんからもありましたが、非常にバランスがよい教科書だなと感じました。それでは書写は満場一致で光村図書の方で確認したいと思います。

それでは、3種目、社会科にうつります。

○教育委員 東京書籍が歴史と政治の2冊に分かれて、わかりやすいなと思いました。

○教育長 使いやすいですね。

○教育委員 私も東京書籍です。5年生も2冊に分かれていて使いやすい。教科書を開いたら何を学ぶかというのがわかりやすいし、長崎のことも多く書かれていたので、東京書籍を推したいと思います。

○教育委員 私も東京書籍が読みやすい、分冊もよかったと思います。教育出版は余白が狭く、見にくいということを感じました。そういう点でも、レイアウトもよく見やすい東京書籍がいいと思います。

○教育委員 三つそれぞれいいところもあるのですが、教科書を開いてですね、いわゆる学習の進め方ということで、見開きで学習を進めやすく、わかりやすいというのがやはり東京書籍かなと思います。

作りでいいますと、教育出版と似ているところもあるのですが、やはり教科書を開いた時の、学習の進め方、一番すっと入っていくのが、東京書籍。あとはいろいろな資料もとじ込みとか、見開きとか大きな資料を効果的に使っていて、それぞれ教育出版のその昔の写真をカラー化して、いろいろな面で良いところが出ているところもあると思うんですけど、やっぱり一番見やすくわかりやすく、学習を進めやすいのが、東京書籍かなと思いました。以上です。

○教育長 教える側が子供たちに、どう主体的に意欲的に学ばせるか、知的好奇心を持って学ばせるかという点で考えたときには、教育出版もかなりいい構成になっているなと思いました。問題をどう把握して見通しを持ってどう追求し、どうまとめていくかという点に関しては、かなり工夫されていた。

資料の取扱い方、1つの資料から子供たちにどのようなことに気付かせていくかという視点では、東京書籍はよく出来ているなと感じました。実はそれぞれの教科に関連項目が四つずつぐらいあるのですが、社会科の項目の中では、資料活用能力という観点がございます。社会科の特徴、資料をどう読み取っていくかという観点があるのですが、能力を育てるところでは東京書籍が工夫されているなと感じました。私も東京書籍がいいと思いました。

では、社会科は全会一致で、東京書籍ということで確認させていただきたいと思います。

それでは、次に地図にうつります。

○教育委員 帝国書院が見やすかった。

○教育委員 私もです。

○教育長 皆さん、大きくうなずかれています。

○教育委員 帝国書院がいいと思います。

○教育委員 同じです。

○教育委員 同じです。帝国書院が見やすいです。

○教育長 ぱっと開いただけで、地図を見たときに何となく地形が思い浮かぶ、ただで、この辺が山なんだなど。情報量も適切で、それが縮尺が上がっていくに従って情報も詳しくなっていく。日本がこれだけうつってきて、東京とか大阪だけついているのを開けていくと、だんだん詳しくなって、もっと上げると町までわかるような、そういった構成がされているんですね。

続いて、算数にうつります。算数が一番、数が多いですね。算数は6者あります。この中で、採択審議委員会からも選定委員会からも三つずつが報告ありますが、この会はそこにとられる必要はございませんので、採択審議会、選定委員会の三つで入ってないところでも委員さんの思いにかなうところがあれば、それを出していただければと思います。算数はいかがでしょうか。

○教育委員 啓林館と東京書籍がいいと思ったんですけども、その中でやはり啓林館の方はQRのコンテンツも充実していて、より良いんじゃないかというふうに感じました。

○教育長 そうですね。QRコンテンツは、これからの教科書を模索している面がありますね。ほか、いかがですか。

○教育委員 私も迷っております。啓林館か東京書籍かなと思っているのですが、先ほどの先生のご推薦でも、啓林館の方が低学年には丁寧に作られているし、子供たちが主体的に学べるような要素になっているし、書き込みも結構あって使いやすいのかなというふうに思っております。啓林館かなと思っています。東京書籍もいいよねと思っていますけれど…ちょっとよくわかりません。

○教育委員 私は啓林館がいいかなと思っています。指導の方はよくわかりませんが、主体的に取り組んだり、子供たちが自学に進んで取り組んだりできるみたいなので、啓林館がいいかなと思いました。

○教育委員 私はちょっと啓林館と東京書籍の二つを見比べると、構成がよく似たところもありまして、どちらもいいなと思うのですが、見たときのいわゆる見やすさといいますか、詰め込み過ぎてないという適度な余白とですね、やっぱりそこに書き込みをしたりすることと、いろんなQRコ

ードも実際に見てみましたが、使いやすく非常にわかりやすい。学校の先生方もやっぱり指導しやすいというふうな。もう一つは、やっぱり子供たち自身がどんどん先に進んでいきたくなるような一定の余白もあり、ゆとりをもった作りで、詰め込みすぎてワーンとならないようなところが一番いいのではないかなということ、やっぱり最終的には啓林館かなというふうに考えました。

○教育長 啓林館と東京書籍を悩まれたという方が3名いらして、1名は啓林館がいいという意見でした。私自身もものすごく悩みました。他の教科書とこの2者は違うかなと。特にこの2者の特長としては、算数を教え込むというだけではなくて、概念、原理、数理、そのような目をつけさせて数学的なリテラシーを育成しようとするところがすごく感じられました。日常生活から数理を見つけ、数理を見つけて日常生活に戻すというところが大変工夫されていて、とってこの2つがよくできておりました。私もずいぶん迷ったのですが、今でもどっちと言い切れないぐらいです。今皆さんも私と似たような感じなのかな、迷っているけれども、啓林館のほうがQRコード等を含めて、新しい教科書を目指されていて新しい可能性が感じられるというところもございましたので、啓林館ということで確認をしたいと思います。

それでは理科にまいりたいと思います。理科は5者あります。

○教育委員 理科も啓林館と大日本図書とで悩んでいます。この2つはいいなと思って、その中でどっちか、甲乙つけないといけないのかなと思ったときに、啓林館の方が子供たちの思考に近いのかなと思ったんです。理科は日常の科学的な事象とか、生物学的なものがすごく大きくて、その中から理科的な発見をしていくのですが、日常生活と理科の学びをつなげていって、子供たちが感じたことを学習に深化していくというか、思考の流れは啓林館の方がしっかりとされているように思いました。保護者さんの意見もございましたですね。採択審議委員会の中で、親が見てわかりやすいという意見もございましたが、あの言葉がまさしく生活と理科を結びつける良さを示していたのかなと思いました。私も迷いながらではあったのですが、どちらかと言われれば啓林館がいいのかなと感じたところでした。

○教育委員 私も大日本と啓林館とで迷っているのですが、最終的に啓林館の星空の写真がとても美しかったんですね。理科って、美しいとか興味を示していただくと勉強するのではないかと思います。感覚的ですが、啓林館の写真が美しいので啓林館がいいと思います。

○教育長 それって大きいんですね。子供たちが理科好きになるときって、案外その部分なんです。自然の美しさとか摂理とか。

○教育委員 私もまだ迷ってまして。前に自分が残しているメモでは、大日本と啓林館に印をつけていまして、その時点では、大日本の方が自分で読んでも、自分で考えてわかりやすいんじゃないかと思って印をつけているんですけど、今改めて手に取ってみた時に同じこの3年生を比べると、両方ともレイアウトが良くて読んだだけでわかりやすいと思うんですけど、啓林館がサイズを少し小さくしてある。理科というのは持ち運ぶこともあるんですかね。

○教育長 そうですね。

○教育委員 持ち運ぶということを考えたらこのサイズは非常に工夫されていて、この大日本はちょっと重いんですよ、大きくて。これは持ち運んでいくと全然ストレスがないんですけど、これは持ち運んで私の力でも重たいと思うので、多分子供たちも重いと思うんです。その点では、啓林館が優れているというのと、シンプルなので、子供たちにとって、詳しく読んで、これ読んだだけでわかりやすいのはこっちかもしれないのですが、とっつきやすいというかですよ、抵抗感がなくて、

すっと入れるのは啓林館の方かなと思いますので、私は前の段階では、大日本の方に評価を高くつけていたのですが、今日この現物を比べた時点で、啓林館の方が良いと思います。

○教育長 確かに、理科は野外に観察に行くときに持っていきますね。

○教育委員 私も啓林館と書いてはいるんですけど、よくわかりません。どちらもいいので。

○教育長 どちらもいいで構いません。

○教育委員 私、啓林館に印はつけていたので、こっちかなと思います。すみません。

○教育長 迷うのは当たり前だと思います。

はい、お願いします。

○教育委員 やっぱりこう見たときに大日本とこの啓林館がですね、それぞれ写真とかも鮮やかで、教科書が大きい分、写真とかあった方が大きくてですね。

会議の中でもですね、審議委員会の中でも発展性を求めるならばこちらの大日本で、基礎基本だったら、こちらの啓林館かなという意見も出ていたんですけども、それぞれが良いところだと私もずっとどっちなのかと迷っていたのですが、現時点で使用されているのが大日本でもあるし、ある面では学校の先生方のいろんなこれまでの積み重ねとか、指導の流れからいくと、こっちの大日本でもいいのかなという気持ちは持っているところです。

○教育長 悩まれながらも、大日本の方がいいのかなという意見ですね。今、大体数でいけば啓林館の方が多いのかなと思います。

○教育委員 それぞれ良いところがあるので、啓林館も言われたように、非常に使いやすく見やすいところがあるものですから。

○教育長 今それぞれ聞かれた中で、最初Aと思っていたけど意見を聞いていたらBかなあと思ったりしてる可能性もありますので、ここはかなり僅差ということで、挙手をいただきます。

どちらかに、挙手をしてください。啓林館の方を推したいと思われる方は。

はい、ありがとうございます。啓林館の方で確認したいと思います。

それでは生活ですね。生活は6者ございます。生活科についてはいかがだったでしょうか。

○教育委員 光村図書がいいのかなと思っていたのですが、子供の気持ちに寄り添った内容になっているとおっしゃられていたので。先ほど教育長が理科も生活と密接な関係があるので、もしかしたら、理科と生活は同じ出版社にすると繋がりとかが見えてきたりとかするのかなと思ってはいますけど、私は光村かなと思います。

○教育委員 私も光村か啓林館かなと揺れています。啓林館は、持ちやすくいいかなと。振り返りがあって、次のステップに行けるし、命の大切さも強調されていますよというお話だったので、啓林館がいいかなと思ったのですが、光村も別冊があってそれを使えるというような便利な作りになっていると思います。子供の成長とかそういうのにわかりやすいような記述がありますよというので、やっぱり光村かなと思っております。

○教育長 揺れながら、光村ということですね。私もですね、同じく啓林館と光村で迷ったんですよ。啓林館の方が聞いていたときに友達のいいところを見つけようとか命についてというところがあったんですね。生活科が生まれた時に最初ですね、1年生・2年生の理科と社会をなくして生活科になったものですから、生活科というのが理科と社会の合科学習だと勘違いされたのですが、実は生活科って理科と社会の合科学習ではなくて、子供たちの身近な生活を学ぶというところで、人と人の繋がりとかが、命であるとか、理科社会ではなくて生活科の大きな部分になってくる

んですね。また、佐世保市の命の教育の大切さを考えたときに啓林館は捨てがたいなど。私は逆に迷いながら、若干啓林館推しなのかなと考えているところです。

○教育委員 光村の方がですね、付録に別冊が付いたり、下敷きみたいな持ち歩けるようなものがついていたりする、そういう工夫があるもので、啓林館の方は、やはり本来小さくて持ちやすく軽くて、レイアウトは非常に子供たちにもわかりやすいと思います。

私は、光村図書は別冊が取れたり下敷きがあったりして、アイデアを一生懸命出して作ったなという感じがするので、パッと惹かれるんですけど、やっぱり実際の本そのものは、子供たちにとって見たらこっちの方が読みやすいレイアウトで、本自体も軽いし、そういう何か物理的工夫よりも本質的なよさは、私はもうメモした時にはやっぱりそういう工夫に惹かれて、よく書いているんですけど、今日改めて今見たら、啓林館の方が実際には先生も子供さんも使いやすいようになってるんじゃないかなと思って、メモを変更して私は啓林館の方がいいというふうに感じます。

○教育長 皆さん迷われながら、迷いながら啓林館。

○教育委員 私も迷ってですね、特にやっぱり別冊があるっていうのはですね、いわゆるそのままの形の使い方ができるから、これいいのかなっていうのがあって、私も光村を推していたところだったんですけど、また一応読み返してですね私もいわゆる観点ですかね。観点項目を読みなおしてもう一度教科書を見直して見たときに、やはり啓林館の方が、トータルで活動の仕方、見方・考え方を理解させるための構成がすっきりしているなど朝、来て見て思いました。そういうことで啓林館の方がいいのかなというふうに思いました。

○教育長 今、それぞれ5名の意見が出たところをお聞きになられた上で、最終の今のお気持ちを聞かせてください。挙手をお願いいたします。

啓林館で確認させていただきます。

それでは音楽の方に進みます。音楽は、教育出版と教育芸術の2者でございます。

○教育委員 私は教育芸術の方がわかりやすく、学びやすい、音楽を楽しめる、二次元コードなどの工夫も良いということで、教育芸術の方に1票です。

○教育委員 教育芸術はQRコードもよく整備できていたし、先生が非常に指導しやすいというご意見もあったので、教育芸術がいいと思っております。

○教育委員 私も教育芸術で、長崎くんちなども載っていたのでいいと思いました。

○教育長 長崎くんちも出ていましたね。

○教育委員 私は教育芸術で、やはりイラストも見やすいですし、QRコードを実際開いてみたときに、非常にこう使いやすいのかなということがあってですね、それも含めてトータルで教育芸術かなと思いました。

○教育長 私もやはり、教育芸術がいいなあと思いました。実は私は音楽がものすごく苦手で、小学校中学校で音楽がものすごく苦痛だったんです。

ただ、教科書見たときに、あんまり音楽音楽していないと。いい意味で。芸術芸術していなくて、具体的な手順で、リズムなど楽しみながらやっていけるような仕組みがしてあったんですね。いろいろな子供たちが音楽に主体的に親しむ意味で教育芸術の教科書は素敵だなと思いました。全会一致で、教育芸術で確認させてください。

次に図工の方に進んでいきます。図工も2者ですね。開隆堂と日本文教です。

○教育委員 専門ではないんですけど。なんかいつも同じような絵が教室に並んでるような気がし

ます。顔も同じ方向。色も同じ色を使っていたりとか。そういう絵ではなく、なんかよく見ると、ここいいよねとか、ここ好きだなあとか、そういう感じがいいので。

それを見るとそれしか描けなくなるような表紙だとどうしても先入観になってしまうのかなと。開隆堂の方がちょっと、表紙のチョイスがいいのかなと思いました。

○教育長 子供たちを誘導しない。

○教育委員 そうですね。

○教育委員 私は日本文教に印をつけました。採択審議委員会の中でも、子供たちの学習意欲を喚起するように工夫されているというところと QR コードも良かったように思っています。親としても非常によいという意見もあったので、日本文教の方を推したいと思います。

○教育委員 苦手な分野なんですけど、どちらも甲乙つけがたいんですけども、画面を開いてみた構成の中でですね、写真とか、そういったものの使い方とか、あるいは QR コードの使い方など、そういったものを見たとき、日本文教かなと思いました。

○教育委員 私は日本文教の方が望ましいのではないかと考えております。改めて今確認したんですけど、両方とも環境に配慮したインクとか用紙を使っていますと書いてあるんですけど、気になるのが、日本文教出版の方は、同じようにベジタブルインクだとかそういうのを工夫していますと書いてあるんですけど、色鮮やかで綺麗です。よく環境に配慮したら、色がよくくすむんですけど、全体的に開隆堂さんの方がくすんでいる感じがするんですよ。

本来美しく鮮やかじゃないといけないところで、全部なんかくすんで感じる。低学年のものはなんかちょっと綺麗で鮮やかなんですけど、高学年のが何冊かとってみても、やはり全体的に何かくすんで感じるんですね。そういうところを今感じました。それとメモしてたのは、やはり作品が多くて子供たちがイメージしやすいとか、QRコードの活用とかも、日本文教出版はすぐれてるというふうに感じまして、私は、日本文教出版の方がいいのではないかと思います。

○教育長 私もなんかこの2つで悩んだんですけどね。日本文教の方は、すごく丁寧というか、提案がすごく具体的で丁寧なものだから、発想がなかなか持ちにくい子供にとっては救われる、いざなってもらえる。ところが、発想の豊かな子にしては、そこまで世話やかなくていい、もっと自由に僕はしたいと思えるような、これらの両方のよさが、ある意味、短所になっていて、短所が長所になっているような感じを受けたんですね。

だから私はこの2つ、甲乙つけきれないのかなと自分で思いながら見ていました。

ただ、いろんなご意見を伺うと、図工だから色は綺麗であって欲しいなあって思いましたし、どちらでしたかね。日文でしたかね。

○教育委員 日文は綺麗ですね。

○教育長 それで、長崎県の題材を日文がかなり積極的に使ってくださいっていたんですね。

○教育委員 そうですね。

○教育長 そういった点も考えると、迷いながらですけど、総合的には日文かなと思ったところですよ。日文の方で確認させていただいてよろしいでしょうか。

○教育委員 はい。

○教育長 それでは、家庭科ですけど、家庭科も2者ですね。東京書籍と開隆堂の2者です。

○教育委員 繋がっていたのはどちらでしたか。手順がちゃんと見開きで見れるのは。

○教育委員 ご飯の炊き方とか。

- 教育委員 食べて元気にご飯の炊き方。開隆堂さんの方が、ご飯のところが見開きでわかり易い。
- 教育委員 僕もこれ見ながらご飯が炊ける。
- 教育委員 わかりやすい。
- 教育委員 わかりやすい。
- 教育長 お一人ずつ聞く必要がないみたいですけど。みなさん、開隆堂で。
- 教育委員 開隆堂さんが見やすく整理されています。
- 教育長 とても見やすい。
- 教育委員 はい。
- 教育長 子供たちが家庭で復習というか実際に実践しようとするときも、これを見ると、とても作りやすい。家庭科の生活化が図りやすい。全会一致で、開隆堂で確認させていただきます。
- 教育長 それでは、保健にうつりたいと思います。保健も多いですね。6者ございます。お願いします。
- 教育委員 学研は非常に色がよくて見やすいというような感じがありました。
- 自分の意見を書ける欄が付いていて、どういうふうを考えるんだっていうのが、とてもよかったし、QRも結構多かったと思いますので。また、現在も学研ということでしたし、私は学研がいいかなというふうに思います。
- 教育委員 私も学研が、色遣いも見やすい、レイアウトもいい、動画も見てみたんですけどそれもよかった。自分の考えを書けるところもよかったので、私は学研がいいと思いました。
- 教育委員 私は学研がいいのかなと思いました。やっぱりいろんな手法があるでしょうが、ロールプレイングなども取り入れて、喫煙飲酒の答え方等、具体的な指導の内容が出ている。
- 見開きで子供たちの学習内容を把握しやすく、進めやすい。いわゆる自分が見られて、学研かなと思いました。
- 教育委員 学研がいいのかなと思います。3・4年生で見ると具体的なのは光文かな。学年でも作りが違うので…どちらも見やすいです。
- 教育長 私も学研かなと思ったんですが、QRコードがよくできていたんですよ。
- 1人1台端末を入れて、どの教科が1人1台端末をよく使っているのかなあ、最初理科とかがよく使うのかなと思っていたのですが、ことのほか体育がよく使うんですよ。
- 端末を一番よく使うのは体育だな、そう思うと、QRコードの充実している学研はいいなと改めて感じました。これからますますその傾向は加速するのかなと思ひまして、私も学研かなと思いました。委員さん方のご意見も、ほぼほぼ学研ということなので、全会一致で学研で確認させていただきたいと思います。
- 次に英語に入ります。英語も多いですね、6者です。
- 教育委員 東京書籍が先生の指導に関してもとても良いのではないかと。小学校でどのくらいの英語を教えるのかというので、あまり教え過ぎてもということで、小学生に良い分量として東京書籍がいいのではという意見がありましたし、ワークブックみたいな感じになっていて、書くことが必要なのではないかとということで東京書籍がいいのかなと思っています。啓林館も三省堂も、それぞれにいいところがあるんですけど、現在の先生方の指導を考えたら、いろいろと教科書が変わらない方がいいのではないかとこの気持ちで、東京書籍がいいかなと思っています。
- 教育委員 啓林館のブルースカイがいいのかなと思っています。問題数が多すぎないけど、リピ

ートして復習がやりやすい。問題も載っている。啓林館がいいかなと思いました。

○教育委員 もし自分が本屋さんに売ったやつを選ぶとしたら、啓林館のブルースカイが魅力的に感じたのですが、今日審議委員長さんがおっしゃった、今の指導をこれでされているということを考えて、やはりコロコロ変えると、先生がやりにくいのではないかということ。全然作りが違おうと思うので。その意味ではやはり今の先生方の意見を大事にすべきというところでは、東京書籍かなと思うんです。私が自分で買うんだったら、啓林館を買いますけど、実際のことを考えると、ニューホライズンかなと思います。

○教育長 教職員の負担を考えると変えられないというような気がするのですが。

○教育委員 コロコロ変わるよりいいかなと思うんです。

○教育長 そういう親心はありますよね。

○教育委員 審議委員から老舗感があるなどの意見が出ていましたが、私は三省堂は見た感じ落ち着く気がするのですが…東京書籍はトータルでなんというか、ライトな感覚で、詰めすぎでなくて。活動しやすいって言われていた部分と、ワークブック的な学習も行うというご意見もありましたが、やっぱりワーク的に書き込んで、そして活動をしていく。活動していく中ではですね、非常にやりやすいというか、小学生にとって、取っつきやすい。基本的には英語嫌いをつくらないという最初の目的なども含めまして、東京書籍なのかなと思いました。

○教育長 実は私は啓林館を推したんですよ。今回見ていて、啓林館が英語を使う場面の設定を工夫されていたんですね。教科書で覚えるとか教科書で練習するというのではなくて…

○教育委員 実践的な…

○教育長 そうですね。場面を設定してこの場面でどのように伝えるなど、実践的な部分を、場面設定をうまくされていたんですね。教育委員さんが言われていたことに似ているかもしれないのですが、分量が絞ってあるんですね。言って書いて、たくさん覚えなさいではなくて、柔軟に活動を盛り込んでいて、好感が持てるなと思ったところです。

○教育委員 ブルースカイはすっかりしているのと、具体的に単語をたくさん教えているんです。やっぱり基本は単語がわかればですよ、文法がめちゃくちゃでも通じるじゃないですか。

先に単語を覚えることが先だろうと思うんですけど。そういう意味でも、ブルースカイはよくできているのかな。

○教育長 実践的なんでしょうね。

○教育委員 自由に書くところがあるんですけど、これ本当にこの自由に書くところにいきなり5年生は英語で書けるのかなとは思いませんよ。

もちろん単語とか、単純なことをずっと練習させる方が、実際にはついていけるのかなという気がします。

○教育委員 この単語に関してはですね、こちらの方に別冊が付いています。

こちらですね、今使っているのは。巻末についているか別冊かどうかっていうところがあるので、一応それは使い勝手に関することなのですが、使い方として、いろいろな幅が出てくると思うんです。

ニューホライズンの方がどうしても書き込みが多いっていうのはですね、どっちを取るかっていうところだと思うんですけど。そういった面で、東京書籍なのかなって思いはしたんですけどね。

○教育長 それでは手が挙げにくいかもしれませんが。甲乙つけがたいと思われたらどちらにも手

を挙げられなくて結構です。

それでは、東京書籍ニューホライズン。では啓林館ブルースカイ。ブルースカイ啓林館の方で確認したいと思います。

では最後になりました、道徳です。道徳は6者ございました。

○教育委員 もう皆さんと一緒に悩むところもあって、例えば教育出版がですね、いじめをすごく大事に取り扱われて、今の佐世保市の現状を考えたときに、いじめに対するケアは必要だなと惹かれたのですが、教科書のつくり、教科書は子供たちに深い道徳的価値を気付かせると考えたときには東京書籍か光村図書かなと思いました。

光村の特長が議論をする、道徳を議論で深めていきたいという特長を持っているかな、東京書籍は子供たちが自分のことを他人事ではなくて、我が身に置き換えて考えるようなことを一生懸命に工夫されている教科書かな。そのあたりがこの二つの教科書の素晴らしいところかなと思って、迷いながら最終的には、道徳的価値を自覚させる自分事として子供たちが学び、他人の姿を学ぶ。そこがスタートかなと思ったとき、東京書籍かなと思ったところでした。

○教育委員 審議委員長さんのご説明の中で、光村さんのところでシールとかを言われたんですけど、私も自分の記録も含めて今見返しても、東京書籍の方がですね、より読みやすいレイアウトになっていて、文章とかも、本として見やすい。見たくなるというすぐれた点があるんじゃないかと思います。その点でいくと、光村図書さんの方は、もちろん及第点ですけど、東京書籍の方が私は優れているという感じがします。教育出版の方はちょっと少し暗い感じがします。

もちろん大事なことを教えているんでしょうけど、何か印象として暗いと思いました。私は東京書籍が、より優れていると感じています。

○教育長 教育出版は、ユニバーサルデザインを推しにされているんです。

○教育委員 私もちっと光村図書と東京書籍を見ていたんですけど、どちらかというところ東京書籍の方が、発問が2つ、きちっとですね、考えてみようかと絞ってあるんですね。

2つの発問の、それを中心とした授業展開を含まれるような形で、逆にその教育出版のカチッと固めたような展開になっているので、実際に道徳の授業をするときに、やっぱりそれぞれ道徳は教師の思いを共有しないといけない授業でありますので、ある程度授業展開の中で教師がその力量といますか、その力をですね、見せる部分というのが必要であると。発問の中でもその余裕を持ってただ主発問はこれでいいと思うんですけども、それに至る展開の仕方も含めてやはりある程度この中に出てきている分では少なく、ポンと二つの考えを考えてみようですかね。

これでいって、あとはその授業展開の中で深めるところを子供たちがこう考えて探していくってというようなやり方でいくとやはり実際、そういった形のものならば東京書籍の方が実際に使いやすいのかなという気はします。

○教育長 質問を絞り込んで深く考えさせる。道徳の本質ですね。他の委員さんは迷い中ですか。

○教育委員 教育出版の方におもてなしの心が出ているのでいいなと思ったのですが、おっしゃったように少し、ワントーン色がちょっと暗いかな。そう考えると東京書籍かなと思います。

○教育長 教育出版と東京書籍で迷われているような感じですね。

○教育委員 私は光村図書か東京書籍と思っていますんですけど、推しとしては東京書籍がいいなと思います。全体的に見て、読みたいなっていうようなことになるとか、ところどころに友達に関しての本とか、新しい本の紹介とか、少し子供たちの考えが広がるような気がして、いろんな紹介を

してくださっていることも含めて、東京書籍がいいなと思っております。

○教育長 ほぼほぼ全会一致で東京書籍かと思えます。道徳は東京書籍で確認をさせていただきます。

スムーズにご意見を出していただきまして、大変深い議論をしていただきました、ありがとうございました。

これで全種目の採択が一応終わったということで、本日の議題であります、令和6年度使用小学校教科用図書採択の件につきまして最終議決をとりたいと思えます。

それぞれの教科で、私の方で申し上げていきますので、確認をお願いいたします。

国語、光村図書。

書写、光村図書。

社会科、東京書籍。

地図、帝国書院。

算数、啓林館。

理科、啓林館。

生活、啓林館。

音楽、教育芸術。

図工、日本文教。

家庭、開隆堂。

保健、学研。

英語、啓林館。

道徳、東京書籍。

以上でよろしかったでしょうか。

○教育委員 はい。

○教育長 ではこれで議決とさせていただきたいと思えます。長時間ありがとうございました。

それでは、事務局の方からこの後報告等々ご説明ありますか。

○学校教育課長 はい。学校教育課長です。

○教育長 はい。お願いします。

○学校教育課長 長時間にわたるご審議、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、選定委員会、また採択審議委員会の様子等も傍聴していただきました。本当にありがとうございました。

本日採択していただきました教科書につきましては、今後速やかに県教委の方に、報告をさせていただきたいと思えます。これまで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

○教育長 この情報の取り扱いについてご説明をいただけませんか。おそらく時限非公開になるんだろうと思うんです。

○学校教育課長 決定の公開につきましては9月1日以降を予定しております。ですので8月31日までは、この件につきましては非公開ということでお願いができればと思っております。

○教育長 その後は。

○学校教育課長 議事録の公開、それからホームページ等におきましても、決定事項については公開をしていきたいと思っております。

委員さんの名前につきましては、委員という言葉だけは残して、発言の内容を精査した上で公開しようということで作成はしていきたいと思っております。

○教育長 確認いたします。議事内容含めてすべて、8月いっぱいまでは非公開。

それから9月1日以降は、議事録と含めて公開になりますが、個人が特定されるところが「委員」っていう形での発言。

誰がお話になったということが一切わからないような形での公開ということでございます。そのような取扱いになりますので、よろしく願いいたします。

それでは以上で終わりたいと思います。